

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜城北高等学校学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和3年2月4日(木) 13:30～15:40
- 3 開催場所 本校会議室
- 4 参加者

委員	河野 隆	はなぞの北幼稚園園長	
	井深 孝敏	三田洞第3自治会長	
	小泉 宣昭	岐阜北ロータリークラブ	
	長尾 弘子	元本校PTA会長	
	神谷 政人	岩野田まちづくり協議会事務局長	
	学校側	正村 達裕	校長
	後藤周太郎	教頭	
	野口 雅子	教頭	
	後藤 清	事務長	
	森 公彦	教務主任	
	若井 清美	進路指導部長	
	車戸 祐介	総合学科主任	
	今井 明世	生活文化科主任	

5 会議の概要

(1) 卒業発表会について

① (総合学科主任より)

本年度の卒業発表会は、従来のような体育館ステージでの発表及び全体鑑賞という形に代えてオンライン形式とし、生徒は各教室で発表を視聴したこと、また発表の主な内容と取組等について説明し、その後、発表会の一部を視聴していただいた。

② 講評

- 素晴らしい内容だった。この取組を継続していただきたい。
- 体育館での発表とは、また違った雰囲気だが、これはこれでよい。
- これからの社会では、Web上でのやりとり慣れていかなければならない。実際に人と会う形が一番良いと思うが、どこでも見ることができるというのは、素晴らしい。
- 体育館で行っていた発表とは、全く別物という印象だ。オンライン形式だと画面で見ることになるので、発表者の表情やしぐさ等の細かい点もしっかり見えて、とても良い。
- 動画投稿サイトに掲載すれば、より多くの人に見てもらえるのではないか。岩野田まちづくり協議会のHPで、例えば「三田洞弘法」の紙芝居の発表動画とリンクさせてもらえるとうれしい。地域と学校のコラボもあるとよい。

(2) 学校の取組・令和2年度自己評価について

① 学校長、教頭、教務部長、進路指導部長より説明。

② ご意見等

- コロナ禍により、この一年間、学校はまるで戦争のような状態ではなかったかと思う。そのような中、これだけたくさん取組ができたというのは素晴らしいことだ。一方、世の中には、学校の休業が長く続いたこともあり、登校できない子もいると聞く。特に、高校1年生は不安を拭い去ることができない子が、いまだにいるのではないかと。

そしてその不安は、来年度も続くのではないかと心配している。生徒たちをきちんと見て頂きたいと思う。

○タブレットを利用した授業は怎么样了のか。

→5月の休業中は、教員がオンライン授業の配信のために利用し、生徒はスマートフォン等で講義を視聴していた。通常授業が再開された後は、教員がプロジェクターやタブレット等のICT機器を積極的に利用する授業が増えた。現在は生徒一人一台タブレットの体制が整ったところであり、教員研修を行いながら、本格的な活用に向けて準備している。この状況をうまく利用し、タブレットの活用を進めたい。

○試行錯誤は続くと思うが、生徒が卒業する時、この学校に入学してよかったと思えるような学校づくりをお願いしたい。

○コロナの状況の中、教員も先生も一生懸命やっていると思う。知人が、本校野球部が強いということは知っていたが、各種コンクールや大会、検定合格等の実績も素晴らしいということ、懸垂幕を見て初めて知ったと言っていた。これからも懸垂幕をどんどん下げられるように頑張ってもらいたい。また、本校に出入りする業者も、たまたま通りかかっただけなのに、野球部の生徒が大きな声で挨拶してくれると感心していた。見る人は見ているので、これからも続けてほしい。

○いろいろな場面で決断に苦慮した一年だったと思うが、生徒に主体的に動く力があつたからこそ、成果を出すことができたのではないかなと思う。

○部活動の強化についてはどうか。

→今度の入学者選抜より、県外から生徒を募集することになった部もあり、全体的に強化に努めている。

○現在、インターアクト部はどのような活動をしているのか。

→「心温まる言葉の森」という活動をしている。ペットボトルキャップの回収も続けている。

(3) 「岐阜城北高等学校在り方検討委員会」について

令和4年度の新学習指導要領のスタートを見据え、特色ある、魅力あふれる学校を目指して、毎月1回程度、話し合いの場を設けている。

6 会議のまとめ

長時間にわたって貴重なご意見を賜り、誠にありがとうございました。また、日頃から本校の生徒を温かく見守って頂いていることに感謝申し上げます。これからも、日頃の学びを地域の課題解決に活かすことができる生徒の育成に取り組んで参りたいと思います。